

. . . . .

「夫婦円満が子どもにとってなによりです」

8組 橋本 英明

色々と考えましたが、結論として父親の最大の役目は「奥さんにとってよいダンナ」であることかなと最近思うようになりました。

母親は子供と過ごす時間が長く、幼稚園でのお母さん方とのつきあい、ご近所のつきあい、我が家の場合は僕の両親とのつきあい等、何かと気苦労の多い役目を負っていますが、父親は時間的な制約があるため、代わってあげることがなかなかできません。

下手をすると、「私には子供が生活のすべて」「父親は全くあてにならない」といった状況に追いつめられ、ノイローゼ状態になってしまうケースもあるようです。

生活の基本は「家庭」にあり、「家庭」の要である母親の気持ち次第で「家庭」は良くも悪くもなるように思えます。

そこで、父親に何ができるかという、大したことができるとも思えない、というのが本音なのですが、そんな中で僕が心がけているのは、「女房の話をよく聞く」ことです。

話を聞くことで、悩みも解るし、奥さん自身の事も理解できるようになります。

話を良く聞けばこそ、適切なアドバイスやタイムリーな情報を交わすこともできます。

一度試してみる価値はあると思いますよ。

. . . . .

「おやじクラブの魅力??」

お-クラブ マネージャー 板橋美枝

おやじクラブの方々と、イベントなどを通じてかかわっていく中で、若さに満ち溢れている(!?) おやじパワーには、いつも驚かされ、ま

た、いつも色々なことを感じています。

子どもや家族から見たおやじクラブの魅力を考えてみると...人それぞれ色々とおあるかとは思いますが...何より、「おやじクラブを通じての友達の広がり」でしょう。

イベントなどを通じて、お父さん、お母さん、そして子ども同士がかかわり、そして家族単位で友達を増やしているというのがとても素晴らしいことだと思います。

お母さんと子ども同士で友達関係が広がることは良くあるのですが、そこにお父さんが入り込むということは、何か機会がないと、とても難しいことだと思います。しかし、子どもにとってはお父さんも交えて家族全員で色々な友達とかかわれるということは、とても喜ばしいことですし、きっと子どもの心にも良い思い出として残っていくことと思います。

おやじクラブでは、家族全員で楽しめるイベントがたくさんありますし、男親同士で友達を増やす機会もあります。会員のお父さんからは「父親になってから、親しくできる人に出会うことができて良かった」という声を聞くことがあります。また、そのことによって、お父さんや家族の趣味も広がっていているようですね。

おやじクラブのイベントの中には、会員以外の方も参加できるイベントも企画されていますので、子どもとの思い出作りにおおいに利用してみたいかがでしょうか。

平和幼稚園のおやじのみなさん、これからも平和幼稚園の子ども達がた～くさん楽しめるよう、よろしく願いしま～す。

. . . . .

「こどもの心の豊かさは」

東京大学教育部 汐見助教授

プチタンファン 4月号から要約

日本の教育行政の人達には鈴虫が多い、「リンリ、リンリ」と鳴いている。

「正直」「誠実」「親切」という徳目を教えれば立派な人間になると思っている。それで「心の教育」ということになる。

しかし、テストの点数でランク分けされて、それで将来の進路が変わってしまう、そんな中で「平等に、親切に」と言われても、ドッチラ

ケ…。実際の体験で「親切にされてうれしかった」「親切にすることは良いことだ」と思わせる社会がないと実現は難しい。

先生や親が権力的に規則や道徳を決めても、子ども自身が納得せず反発してしまう。今の若い子は信頼された経験が殆どなく、「ああするな、こうするな」と言われた経験しかないので、「大人は勝手なもんだ」「うるさいわね、勝手にさせて」となる。心が育つはずがない。

子どもは、出来事を自らのレンズを通して写し取って自分の内面に世界をつくっていく。そうして作られるのが心。

子どもの周りにある全てのモノが「世界ってこういうものかな」という手がかりになり、そこで「生きて行く勇氣」「生き甲斐」がどんどん膨らんで行けば心が豊かになる。

思いっきり遊び、いたずらし、冒険し、その中で「毎日がおもしろい」「こんなことやってみたい」「おおきくなったら…」と夢をはぐくむ、そんな生活が無ければ心は簡単には育たない。ところが、今の世の中は肩の力を抜いて「いいなあ」と感じられる時間もない。

今の日本の現実には世界有数の消費世界で「手っ取り早くお金で済まそう」という論理を作ってきた。そして自分の手で作って行くという体験が無くなってきた。その結果、環境問題とか子育てとか儲けの理論に合わないものが隅に追いやられている。子どもの心を豊かにするためには大量消費の文明論理をやめてしまって「革命」をおこすしかない(笑)と思う。

・-クラブ・ミーティング・リスト・-

よく「普通の高校生が…」と言われますが、茶髪ギャングでも「将来に対する不安」とか、考えている事は私達の頃と変わりませんよ。

私たちの頃は、カラオケもコンビニもゲーセンもなく、放課後は喫茶店でたむろしていた。

最近の子は産まれた時には全部あったわけで、それにケータイやらゲームやらの情報を追いかけるのに手一杯で、自分のことを考える時間の余裕が無くて可哀想。

自分の子供は来年から中学生、不安はありますが、向かい合う姿勢をもっていければいいのでは...と思っています。

かつて園長が言っていましたが「これからはいかに自分の力で飯を食っていけるか」という力が付けばいい。(Y氏)

大学生といつも接していますが、厚底靴や、男ピアスなどは普通にみかけます。でも、遊んでばかりでは無く、やるべきことはやります。

今週は大半を泥にまみれ(田植えです)で過したのですが、爪に模様を入れている女の子でも嫌な顔せずに田んぼに入るし、普通の大学生は普通ですね。

情報が過多との感じもありますが、振り回されているのはむしろ私達の世代なのかもしれません。学生達は気楽に情報機器を利用し、すごいものです。(S氏)

・ ・

5月20日(土)に、学年別懇談会及びお-クラブ総会が開催されました。

学年別懇談会は子供達が帰った後に3時から平和幼稚園で行われました。

先生方に引率されて幼稚園を一巡りした後、ホールでお-クラブ 定番の「七匹のこやぎゲーム」や「よさこい」「障害物競走」で、先生方の指導のもと(羞恥心を捨て)幼稚園生活を体験し、犬ぞり高橋氏が作成したビデオ「幼稚園の一日」を鑑賞、先生方の日々の尽力に感動し、その後学年別に分かれておやじと先生方の歓談に花が咲きました。

その後、場所を琴似の居酒屋「やまべ」に移し、お-クラブの総会及び懇親会が盛大に行われました。

・ ・

O-mailの発行時期を月はじめにすることになり、今回は5・6月合併号となりました。サボった訳ではありません。7月からは月1回ずつ発行します。

担当：なみかわ

E-mail：namikawa@mpd.biglobe.ne.jp

・-クラブ・ . . . .

6月11日(日)9:30から「田植え体験」を行います。農家の方(木村氏)のご厚意により、昨年に引き続き平和の滝のすぐ手前の水田を貸していただきます。今年は家族そろって(お母さんも)泥だらけになれるよう企画しています。

また、同日2時頃から、お-クラブ 10周年記念行事の一環として、平和幼稚園において芝桜の植栽を行います。

好天を祈っています。(お-クラブのメンバーは日頃の行いが良いせいか、行事は天気に恵まれることが多いのです。)

今回は、いずれも、お-クラブメンバーが対象の催しです。(入会は随時受け付けています。)